

中京区ボランティアセンターのご案内

中京区社会福祉協議会では、ボランティア活動に関する各種情報を用意して、皆さまのお越しをお待ちしています。

お気軽にお電話、メールでもお問い合わせください。

ホームページはこちら



ボランティア情報

「ボランティアがしたい」「ボランティアをしてほしい」に寄り添い、希望の情報を提供。マッチングもさせていただきます。

保険・助成金情報

- **ボランティア保険**：ボランティア活動をする「個人」を対象としています。
プラン（基本コース、天災コース）、補償額によって保険料が異なります。（基本コース：250円より/年）
- **福祉行事保険**：非営利の公益的行事を行う福祉行事主催者を含む参加者、主催者を対象とした障害補償、賠償責任補償があります。プラン（日帰り、宿泊）、行事内容によって保険料が異なります。（日帰り行事30円より/人）
- **助成金**：民間助成の申請のご相談を受け付けます。

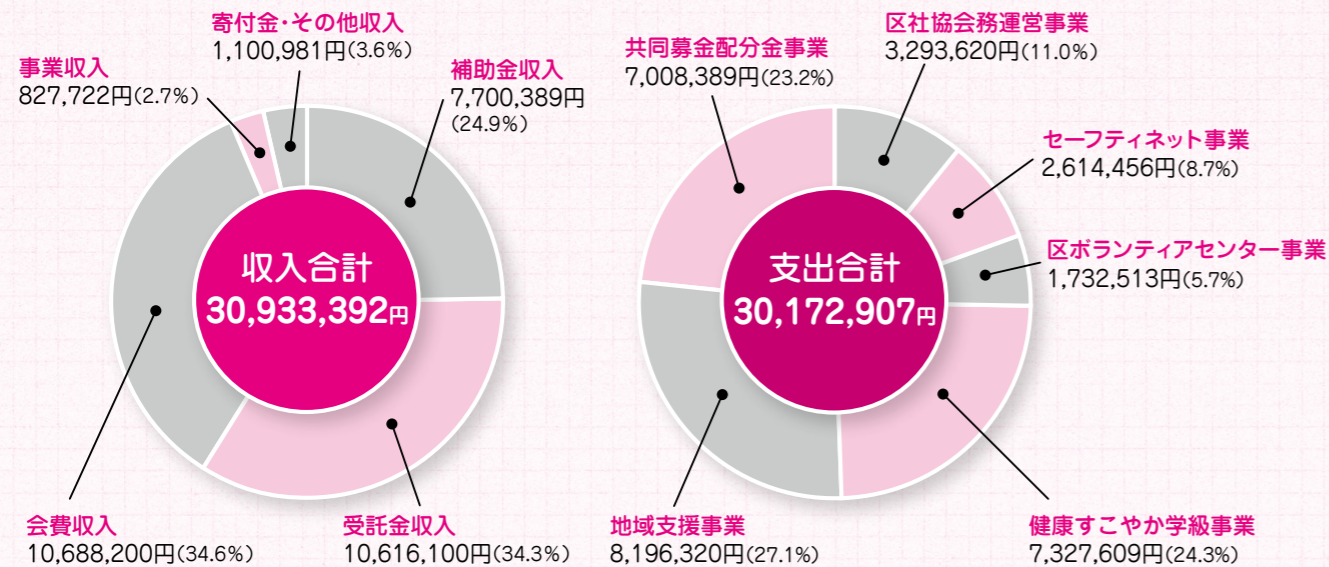
機材・会議室の貸出

※事前にお問い合わせください。

備品機材 白黒コピー機・印刷機、丁合機、紙折り機、プロジェクター、マイクセット、レクリエーション器具（ボーリング、輪投げ、スカットボールなど14種）、車いす（7台）

会議室 土日祝日及び年末年始を除く平日
午前（9時～正午）・午後（13時～17時）の2部制 200円/1部

令和元年度 決算報告



べんがら ごうし Nakagyo

44号

2020年6月発行

編集・発行・問い合わせ

社会福祉法人 京都市中京区社会福祉協議会
(中京区ボランティアセンター)

〒604-8316 京都市中京区大宮通御池下る三坊大宮町121-2
中京区地域福祉センター内(元教養小学校)
TEL.(075)822-1011(代表) FAX.(075)822-1829

中京区社協

検索

<https://nakagyo-syakyō-kyoto.jp/>
E-mail: fukusi06@mediawars.ne.jp



中京区地域福祉活動計画ってなあに？

中京区には、住民、ボランティア、専門家の方々が自発的に参加・協力して行う民間レベルの福祉活動（地域福祉活動）が数多く存在しています。中京区地域福祉活動計画推進協議会は、これまで取り組んできた様々な地域福祉活動を振り返るとともに、学区社協や本会会員団体などへのヒアリングやアンケート、意見交換を行いながら、中京区における今日的な福祉課題を明らかにしました。中京区

地域福祉活動計画第四次プランは、これから5年かけてみんなができること・できそうなことをどう進めるか、「ふくしのまちづくり」の基本的な方向性を示したものです。令和2年4月、中京区は“みんながふれあい・つながり・ささえあう中京のまち”へ向けて新たな一歩を踏み出しました。詳しい内容は、中京区社協のホームページをご覧ください。



特集

中京区地域福祉活動計画〈第四次プラン〉令和2年度～令和6年度
みんながふれあい・つながり・ささえあう中京のまち

中京区地域福祉活動計画第四次プラン

学区社協重点目標一覧

中京区地域福祉活動計画第四次プランでは「ふくしのまちづくり みんなで進める取組」として6つの推進活動を掲げ、学区社協では、この5年間で重点をおいて取り組む目標を「学区社協重点目標」として設定しました。

学区	学区社協重点目標
梅屋	サロン開催時に「困りごと受付」窓口を設け、地域の困りごとに関心、地域包括支援センターや中京区社会福祉協議会などの支援機関につないでいきます。
竹間	学区の様々な人材を生かし、役員も参加者もともに楽しんで多様な取組をひとりでも多くの人に声掛けし参加していただき、ふれあいを通して見守りを行っていきます。
富有	子どもからお年寄りまで自治会館（行事）に集まってもらうことで、高齢化に伴う参加者の変化に気づき、理解します。
教業	サロンの参加者を増やすとともに、防災への意識を高める取組を社協事業に取り入れていきます。
城巽	地域住民が気軽に集える「場」を築き、様々な世代の交流を促すことで地域における学区社協活動の理解者・協力者を増やしていきます。
龍池	地域包括支援センターが行う全戸訪問に同行し、見守り名簿に載っていない方を把握し、各町の福祉委員につなぐとともに、マンションにお住いの方ともつながって、学区社協活動の理解者、協力者を増やしていきます。
初音	サロンをより魅力あるものにし、参加者の拡充をすすめます。
柳池	顔の見える関係を広げ、サロン参加者の増加や、新たな役員・担い手育成につなげます。
銅駝	現状の取組を継続し、未参加の方への働きかけを行い、新しい参加者を受け入れることで学区のつながりを強めていきます。
乾	各町の社協委員との協力による見守りを充実させます。
本能	日常的な気づきを高めるために、「おとしより110番」の取組を進め、学区社協事業への協力者を増やし、ゆるやかなネットワークをひろめます。
明倫	「つながる明倫～新たな絆を求めて～」の旗の下、広報活動を工夫し、学区民（とりわけマンション住民）とのつながりを深め、「顔の見える関係づくり」を強化・推進し、行政・自治連合会傘下の関係諸団体との緊密な連携を図り、「ワンチーム」で「安心・安全」まちづくりに努めます。

学区	学区社協重点目標
日影	あらゆる機会を通じて、社協の取組を発信することで、すこやかサロン新規参加者の発掘や困りごと相談の収集につなげます。
生祥	サロンや筋トレなど、これまでの事業を継続・充実させるとともに、地域の他団体と連携し、子育て世代にも社協の活動を知ってもらえる取組を行います。
立誠	災害時の助け合いにつながるように、老人クラブや女性会など地域の諸団体と連携しひとりでも多くの方に取組に参加してもらい、顔の見える関係をつくっていきます。
朱一	安心して暮らせる朱一のまちを目指し、関係団体、機関の協力も得て、地域活動の担い手を育てていきます。
朱二	高齢者の居場所、モーニングカフェの拡充と、介護者の居場所づくり、広報の充実を目指します。
朱三	民生、老福と協同して高齢者の実態調査のアンケートを実施し、町内会や防災組織と積極的に関わっていきます。
朱四	町委員に協力・参加してもらい、学区社協事業の参加者を住民同士の口コミでふやし、障がいのある方にも情報が届くことを目指します。
朱五	朱五サロンや朝カフェの企画や広報を工夫し、男性参加者を増やします。
朱六	担い手も無理なく楽しめる活動を心がけ、できることで少しずつ、たくさんの方に関わってもらい、将来の担い手育成につなげます。
朱七	各町内に社協委員を置くことで、町内の見守りや支えあいを強化し、町内活動の活性化につなげます。
朱八	学区社協事業に参加する若い世代にも地域活動を知ってもらい、担い手づくりにつなげていきます。



「まち×ふくし懇談会」から

地域の実情に合った計画にするため令和元年9月「まち×ふくし懇談会」を開催し、中京区の地域福祉の向上のため日々活動されている方々、施設・事業所の方々にご参加いただきました。この懇談会では、今の中京区の「まちの姿」について学びあい、日頃の取組や活動で感じておられる「地域の力」や「地域の福祉課題」と、中京区の「これから」についてみんなでできることを話し合いました。

●開催日・参加者

堀川通東側地域：令和元年9月30日(月) 参加者68名
堀川通西側地域：令和元年9月26日(木) 参加者60名
中京区の地域福祉の向上のため日々活動されている方々128名が参加。



グループ懇談で出された主な声（一部抜粋）

▶地域の福祉課題について

- 地域のつながりが希薄化している
- マンション住民とのつながりをどうつくる？
- 居場所づくりをすすめているが家に閉じこもっている高齢者へどうアプローチすればいい？
- 困っている方が心を開いて話せる環境をどうつくる？
- 災害時の不安 等

▶みんなでできること・できそうなこと

- 災害時の対応方法を町内会規模で決める
- 地域役員の顔を覚えてもらえるようにする
- 防災を切り口に地域のつながりを深める
- 担い手に無理のないよう、行事を見直す
- 担い手が楽しさややりがい、達成感を感じられるようにする
- 福祉施設と地域が連携して、孤立している子育て世帯へ支援する

この他に、立場や役職ではなく住民同士としてのつながりを深めたいなどの意見もありました。参加者のみなさんから出されたアイデアやヒアリングで聞き取ったご意見を、第四次プランに反映しています。

「新型コロナウイルス感染症に負けない 中京のふくしのまちづくり」

中京のまちもコースとなった京都マラソンも無事終わりしばらく経った頃、新型コロナウイルス感染症により生活が一変しました。3月には学校が休みになり、区内の料亭や旅館などで子どもたちの居場所や昼食が提供され、ボランティアが図書を届ける姿がありました。4月は区社協が生活資金の特例貸付窓口となり、毎日沢山の方々の相談を

受け付けました。5月末の緊急事態宣言解除を受けて、6月に学区社協や区内の居場所、ボランティアグループ、市民活動団体にアンケートをお願いしました。いただいたご意見、知恵や工夫を、これからまとめていき、新型コロナウイルス感染症に負けない中京の「ふくしのまちづくり」に活かしていきます。